



三寒四温の季節が過ぎ、桜が咲きほころび、間もなく4月、新年度を迎え、日本栄養大学と改名されます。それに伴い、一足先に農園の看板が更新されました。

新年度からは農園にも男子学生の姿が見られことと思います。



先日、卒業生に「1年生の時は「農園体験」がどのようなものかわからず履修できなかった。履修した同級生の話聞き、興味がわき2年で取った。」と聞きました。ここ数年、2年生の履修が最も多いのはこのためでしょう。しかし、入学説明会などで農園の話聞いて「絶対取ろうと思った」と話す学生もいます。どんな学生が農園に足を運んでくれるのか楽しみです。

実生から生育した梅です。3年目で、樹高も2メートルを超え、多くの花をつけました。親樹「豊後」は樹勢が芳しくなく、一部の枝が枯れています。しかし、昨年はたくさんの実をつけました。その身でシロップを作り、暑い夏場、学生の水分補給に貢献しました。今年もたくさん実をつけ、学生に喜ばれることを期待しています。そして収穫し損ねた果実は落ち、次の世代へ繋がって欲しいものです。



大学のソメイヨシノもまもなく満開です。ソメイヨシノの名の由来の「染井村」は学園本部のある駒込周辺で、駒込駅前に染井吉野桜記念公園があります。桜の開花はほぼソメイヨシノを対象に発表されます。ニュース映像に流れるように人が計数して開花か否か発表しています。どこでも人員削減が進んでいて人が確認する「初」で霜・氷が昨秋から廃止されました。人手

をかけなくなるの寂しいですが、今後も桜の開花発表は残って欲しいものです。右は坂戸市内にある早咲きの安行寒桜満開です（3月17日写）。

